

■ 薬用植物学☆

Pharmaceutical Botany

対象学年・学期	1回生 前期
単位数・必/選	1.5単位 必修
担当教員	○ 酒井 英二 (薬草園 教授)
オフィスアワー	随時 e-mail にて質問を受け付ける。 esakai@gifu-pu.ac.jp
本科目が求めるアウトカム・コンピテンシー	薬物療法の出発点でもある薬用植物学を講述する。薬用植物を他の植物と区別し理解することを目指し、植物形態学と植物分類学の基礎を学習し、日本薬局方収載の薬用植物を例に、医療に利用される植物の分類、形態、生産、薬効などについて修得する。さらに民間薬・漢方薬などの代替医療についてもその違いを理解し、修得する。
ディプロマ・ポリシーにおける本科目が養う資質・能力	薬剤師や創薬探索者は、天然に存在する化学物質を理解する必要がある。本科目では薬用植物を由来とする医薬品原料(生薬)を理解するために、基礎知識(生薬の種類、基原、成分、薬効・用途)を養成する【◎DP1】。
アウトカム・コンピテンシーへの到達に関する評価方法	基礎知識の修得と体系的理解度を、受講態度、確認問題、課題提出および定期試験によって評価・判定する。 講義の受講を前提に、定期試験の受験を認める。ただし、高学年に進級し講義を受講できない学生には、申し出により別途課題を与える。また、講義ノート掲載の資料で自習し、期日までに確認テストを提出する。課題及び確認テストの提出をもって受験資格とする。
教科書・参考書	教科書:「薬用植物学:南江堂」 参考書:「新訂生薬学:南江堂」
講義方法	教科書と学生掲示板講義ノート資料により行う。全員に植物分類の課題を課す。
関連科目	薬学基礎実習、生薬学、代替医療論

授 業 計 画

回	項 目	内 容 お よ び 学 修 事 項
1	薬用植物の歴史	薬用植物学概論、薬用植物利用の歴史【C-123】 ★
2	植物の分類と区別	▶ 植物分類体系と学名
3	医療に使用される薬用植物	日本薬局方収載生薬【C-044, C-045】
4	生活の中の薬用植物	漢方薬、西洋薬、民間薬【D-062】
5	本草学と東洋医学理論	▶ 陰陽五行、薬食同源、薬膳、植物療法
6	医薬品シーズの探索品	▶ 伝統医学, 民族薬学, 生物農薬, 香粧品★
7	葉・茎を利用する薬用植物	ゲンノショウコ, オオバコ等【C-124, C-125】

8	樹皮を利用する薬用植物	キハダ, ケイ等 【C-124, C-125】
9	根を利用する薬用植物	ミシマサイコ, ニンジン等 【C-124, C-125】
10	根茎を利用する薬用植物	オウレン, ショウガ等 【C-124, C-125】
11	花・果実を利用する薬用植物	サフラン, サンシウ等 【C-124, C-125】
12	薬用植物資源の確保と生産	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 消費と自然保護の両立、CBD、ABS ★ ▶ 薬用植物栽培技術とGAP、生薬調製加工技術
13	規制される薬用植物	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 麻薬、あへん、大麻、覚醒剤 ▶ ワシントン条約
14	薬用植物による健康被害	<p>代表的な薬用植物を形態が似ている植物と区別できる 【C-124, C-125】</p> <p>生薬の副作用や植物中毒</p>
15	いわゆる健康食品	<p>特別用途食品・保健機能食品・機能性表示食品 【D-066, E-022】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 無承認無許可医薬品、健康増進法、保健機能食品制度
16	定期試験	

成績評価

1. 評価項目別配点

評価項目	配点（100%）
確認テストと課題提出	30%
定期試験	70%

2. 評価基準

成績	基準
優	84%以上
良	74%以上 84%未満
可	60%以上 74%未満
不可	60%未満

3. 追再試験

確認テスト、課題提出および定期試験を総合的に判断し、60%未満の学生に対して再試験を実施する。

ただし、定期試験が40%未満の場合は、再試験を受験できないものとする。

再試験は、試験の点数のみで評価し、得点率60%以上を合格（84%以上を良、60%以上84%未満を可）とする。

追試験の場合、定期試験に準じて評価する。

追再試験を無断で欠席した場合は、履修していないものとみなし、次年度は新規履修扱いとする。

4. 備考

試験の受験資格

講義の全受講を前提とするが、病気等の届け出により、自習課題等で振替ることがある。

ただし、高学年に進級し講義を受講できない学生には、申し出により別途課題を与える。また、講義ノート掲載の資料で自習し、期日までに確認テストを提出する。課題及び確認テストの提出をもって受験資格とする。

※ 持ち越し学生については、再履修であることから評価は再試験と同様に扱う。

なお、欠席、休学などで前年度履修していない場合は、新規履修のため定期試験に準じて評価する。